

会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和 8 年 2 月 25 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

会 派 名 (市民クラブ すばる)

高島市議会議員 15 番 高木 広和

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

- 初問は {
1. 全項目一括質問一括答弁
 2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2)	高島市民病院の運営と地域医療について
発 言 事 項	
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
	<p>高島市民病院は、湖西地域唯一の公立病院として、一般診療はもとより、夜間や休日の救急外来、高度な医療の提供など、この地域で暮らす市民の命と健康を守る重要な役割を果たしています。</p> <p>そうした中、近年では人件費の上昇や物価高などが病院経営に対しても深刻な影響を与え、全国の医療機関が大変厳しい経営状況になっていると認識しております。そのなかでも公立病院は全体の9割以上が令和6年度決算において過去最大の赤字となり、このままでは全国の多くの病院の経営が立ち行かなくなるといった報道もたびたびされております。高島市民病院でも令和6年度決算で約5億1千万円の赤字となっている状況と伺っております。</p>

こうした状況下であります。病院における救急医療や小児・周産期医療、へき地医療など、不採算部門と言われる医療分野についても公立病院が担うことを今後も求められますし、他の診療科においても、地域医療の最後の砦となる高島市民病院がしっかりと機能していく必要があると考えるため、今後の病院経営を展望して以下の内容についてお聞きします。

1 高島市民病院は平成24年度に新築移転を行ってから13年が経過しましたが、この間、診療科や医師の数など診療体制に大きな変化はあったのか、また、近年の外来患者や入院患者数の変化をどのように分析しているか伺います。

また、少子高齢化社会の進展により85歳以上の増加や人口減少が一層進む2040年頃には医療体制にどういった影響が生じると考えているのか伺います。

2 不採算部門の医療を担う公立病院は、構造的に赤字になるということが以前から言われていますが、特にコロナの頃を境にして、以前よりも医療業界全体の経営悪化が強く言われるようになりました。

そこで、市民病院ではこうした赤字拡大の要因をどのように分析しているのか、コロナ禍の前後を比較すると収支の状況にどの程度の違いが生じているのかを伺います。また厳しい経営状況に対応するために病院として、収益の確保と、歳出の削減に向けてどのような取り組みを実施されているのかを伺います。

3 自治体病院の経営危機が全国的な課題となる中で、地域医療の安定的な確保を図るため、先日、市より示されました「長期財政計画」のなかでは、病院事業会計への基準外繰出金について検討する。といった内容が明記されています。このことは、市民病院としても今後もさまざまな経営改善に取り組まれることと思いますが、それでもなお、資金が不足することを意味しているものと考えます。

そこで、現時点での令和7年度の決算見込みとあわせて、基準外繰出金についての法的根拠や金額の考え方について問います。また、これまでから実施している基準内繰出金の内容や根拠についてもあわせて伺います。

4 市民病院の財政的な課題は直ぐに解消できるものではないと思いますが、改善に向けた方向性の検討は急ぐ必要があると思います。国は病床数の大幅な削減を目指していますが、病床数を見直すことで経費の削減につなげるといった検討はされているのかを伺います。

また、県全体の医療体制の実態も踏まえて、地域医療構想を所管している県とも協議をして、安心できる医療体系と病院経営を目指すことも必要と思われませんが、県との協議・連携の考えについて伺います。

5 昨年来、様々な病院関係団体から国に対して緊急要望がなされ、先般、国において令和8年度からの診療報酬改定の内容が示されましたが、これにより病院の収益改善にどの程度繋がると考えておられるのかを伺います。

また、今後ますます病院経営が厳しくなる中で、地域医療を支え、医療従事者を確保しながら救急医療や高度な医療を担っていくためには、さらなる経営支援策の充実を国に訴えていく必要があると思いますが、どのように考えておられるのかを伺います。